

特色ある取組 奈良女子大学の第4期中期目標中期計画(2022～2027年度)では、附属中等教育学校と学部・研究科が連携し、実践的な実習・研修の場を提供するとともに、全国あるいは地域における先導的な教育モデルを開発し、その成果を展開することで学校教育の水準の向上を目指すことを掲げ、附属中等教育学校における「探究」を軸とした6年一貫教育プログラムを実践している。そしてこのプログラムと関連させた教員養成プログラムの改革(2021・2022年度より)を展開している。

【教員養成プログラムの改革1】

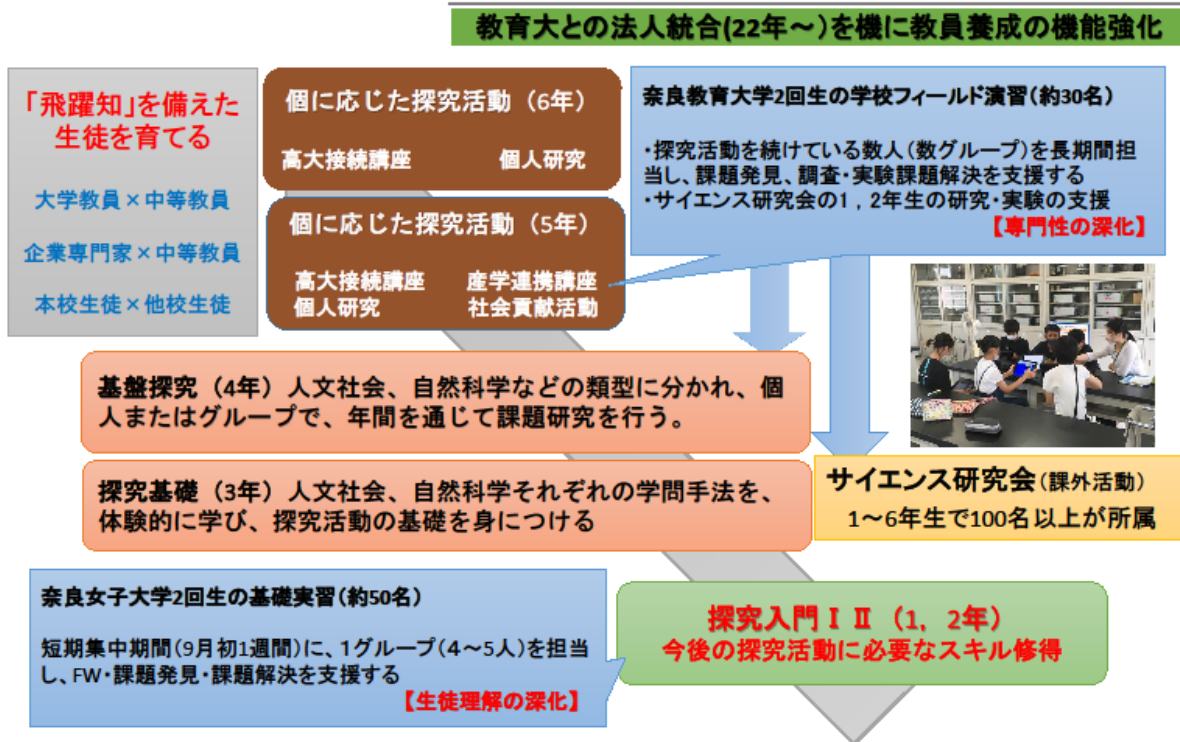
旧教育実習プログラム ➡ 短期集中期間(9月初1週間)に、授業見学や指導教員の補佐をおこなっていた。

新教育実習プログラム ➡ 1グループ(4～5人)を1名で継続して担当し、FW・課題発見・課題解決を1週間にわたって支援する方法へ転換。

【教員養成プログラムの改革2】

学校インターン実習への“学びのチューター”制度の導入
探究活動、理数研究活動の支援を長期(半年～通年)担当する。

探究活動のチューター経験を通して、“生徒理解”と“専門性”の深化をはかる次世代型教員養成プログラム



期待できる成果

- 高度な探究力を身に着けた人財や未来を担う人財を育成できる教員の育成
- STEAM教育や理数、工学、情報(ICT活用を含む)に強い教員の育成
- 生徒理解に長け、高度な専門性を兼ね備えた教員の育成

参考URL: 奈良女子大学附属中等教育学校HP <https://nwuss.nara-wu.ac.jp>